

身の回りのことから

宮崎小学校 白井 達夫

電車の中で、親は立っているのに、小学生高学年くらいの子どもが椅子に座っているという光景を見かけることがあります。

子どもにつらい思いをさせたくないというのは、親として誰もがもつ気持ちです。また、電車内で転んで怪我をしたらたいへんという心配も分からないではありません。しかし、と私は考えます。

いつも快適な環境の中で過ごさせることが本当の幸せにつながるのだろうか。親はいつまでも子どもを守り続けることはできません。子どもはいつか、親から離れて一人で生きていく。そのときに備え、多少のつらさを乗り越える力を育てることこそが大切なのではないのでしょうか。

また、こうも思います。

電車の中で転んだら、確かにたいへんです。だからといっていつも椅子に座らせていたら何の力も育たない。なるべく立たせておくことでバランス感覚を育てていく方が、子どものためになるとも言えそうです。いつも座席が空いているとは限りません。だとしたら、なるべく座らせることよりなるべく立たせ、自分を自分で守る力を育てることのほうが、安全上も有効かもしれません。

そして、こんなことも考えます。

確かに長い間立っているのはつらい。旅行の帰りなどはなおさらでしょう。しかし、それがつらいということを知らなければ、お年寄りに席を譲ろうなどと思いつかないかもしれない。また、そのつらさに耐えるだけの力がなければ、やっぱり人に席を譲ろうとはしないのではないのか。

たかが車内で立つかどうかのことで、何をおおげさなと思われるでしょうが、これはあくまで一つの例え。こうした小さなことの積み重ねが、子どもの生き方を作っていくのだと思います。

少しの困難に耐えられず、自分の命さえ粗末にしてしまう子がいます。反対に他者の悲しみが想像できず、相手を傷つけてしまう子もいます。だからこそ、命の教育の必要性が叫ばれるのでしょう。命の教育なんて構えてしまうと何かとても難しいことのように感じてしまいがちですが、身の回りのことをちょっと見直すだけでできることも多いように思います。

地域教育会議がきっかけになって、学校や家庭、地域のいろいろなところで、いろいろな話し合いが行われるようになっていくといいですね。

今期最終号を発行するにあたり、宮崎小学校校長・白井達夫氏より手記を寄せていただきました。「命の大切さ」について、日頃、白井校長先生がお考えになっていることがよく伝わってきます。

宮崎中学校区地域教育会議は、まさに学校や家庭、地域の代表で構成されています。性別や年齢を越えて意見交換のできる場があることは大切なことだと思います。



顔と名前



「おはよう！」 「元気！」と声をかけるとき。

「教えてもらえるかな？」とものを尋ねるとき。

相手の名前を知らなくても、言葉をかわすことで人との関わりができます。でも、その時だけで終わってしまうかもしれません。

相手の名前を知ることができて、顔を覚えることができたなら、言葉を少しふやすことができるのではないのでしょうか。

「○○ちゃん、おはよう！」 「元気そうね！」

「このあいだはありがとう。これも教えてもらえるかな？」

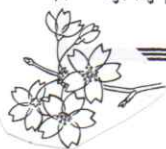
大人になっても、初めての場所で知らない人ばかりだとイヤなものです。大人になって名札をつけることはなくなりましたが、名前を呼んでくれる友人、知人がいることで安心します。「わたし」・「ぼく」が存在していることになるからです。

お弁当の時間



現在では小学校時代の給食の思い出は、なかなか楽しいことが多いようです。家庭の味より好みに合った味があるほどで、種類も豊富です。給食当番や給食だよりから得る情報も心に残る理由なのかもしれません。

中学校や高校はどうなのでしょう。朝食や夕食の量を考えると、これくらいは食べるはず・・・と作ったお弁当を残してくるお子さんがいます。「何故？」と聞くと、「時間がない」という答えだったそうです。中学生といえば食欲旺盛で、心身ともに十分な栄養が必要な時期。間食程度のかき込みごはんではなく、気分転換のおしゃべりも含めた食事時間を準備してあげたいものです。又、そんな生徒を相手に日々奮闘される先生方の食事時間も大切なのではないのでしょうか。



大人としてできることは・・・

身近でこんなことが起きています、実はこういうことが生きるということにつながるのではないのでしょうか、と話が広がっていきました。

子どもが成長すると同時に、親も新しい経験をすることになります。その時々を感じる「？」をみんなで声にだすことにより、実は以前からそうであったり、新規に起きてきた事だったり、ということがわかってきました。声にだすことで意見交換をしていきましょう。

あなたも地域教育会議に参加しませんか！

宮崎中学校区地域教育会議・住民委員募集



地域教育会議は、子どもたちが健やかに育つ環境を作るために、学校と保護者と地域を結ぶ活動をしています。

活動は年に1回の総会、2ヶ月に1回の定例会議、広報、生涯学習、地域教育など各委員会の活動がありますが、現住民委員の方々も負担のないように参加しています。私たちと一緒に子どもたちの未来について話し合いませんか？

お問い合わせは事務局までお願いします。

宮崎中学校 電話 866-3372

《住民委員募集要項》

- 1 任期：2年
- 2 募集期間
平成17年3月14日～4月22日
- 3 委員の資格条件
宮崎中学校区に在住で満20歳以上の方。
教育会議の趣旨を理解し、ボランティアで活動に参加していただける方。
- 4 応募方法
所定の用紙に必要事項を記入し、事務局（宮崎中学校内）に提出してください。
応募用紙を用意してある場所は、宮崎中学校、宮崎小学校、梶ヶ谷小学校、西梶ヶ谷小学校です。

*** Petit Column ***

「今」を考える事の大切さ

お母さん
そこにも ここにも あそこにも
見える いのちが あふれてる
見えない いのちも あふれてる
お母さん 生んでくれて ありがとう
お母さん 生まれてきて ごめんなさい



この詩は、麻生区に住む30才代の身体に障害をもつ青年の作です。生命の大切さをうったえているのです。ご存知のように、日本国内では若者による殺人事件が多発しています。これはなぜでしょう。ヒトとして、人間としての心の欠如に原因があります。それはなぜか。今こそ、私たちは考え、原因究明に総力をあげねばならない時です。

（及川 利男）

INFORMATION

入学式日程

4月5日（火） 宮崎中学校
宮崎小学校
梶ヶ谷小学校
西梶ヶ谷小学校

広報紙「萌」に対するご意見、
ご感想はこちらへ！！

Fax 044-855-1481

宮崎中学校区地域教育会議へのご意見、ご要望を
お待ちしております。

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎107
宮崎中学校内 地域教育会議事務局

▼△▼△ 編集後記 ▼△▼△

宮崎中学校区の皆さん、ご卒業、ご入学おめでとうございます。
私たち広報委員も一年間の締めくくりとして
充実した「萌 MOE」13号をお届けしました。
新年度もより一層頑張っていきたいと思います。これ
からもご支援、ご協力よろしくお願いします。（S）